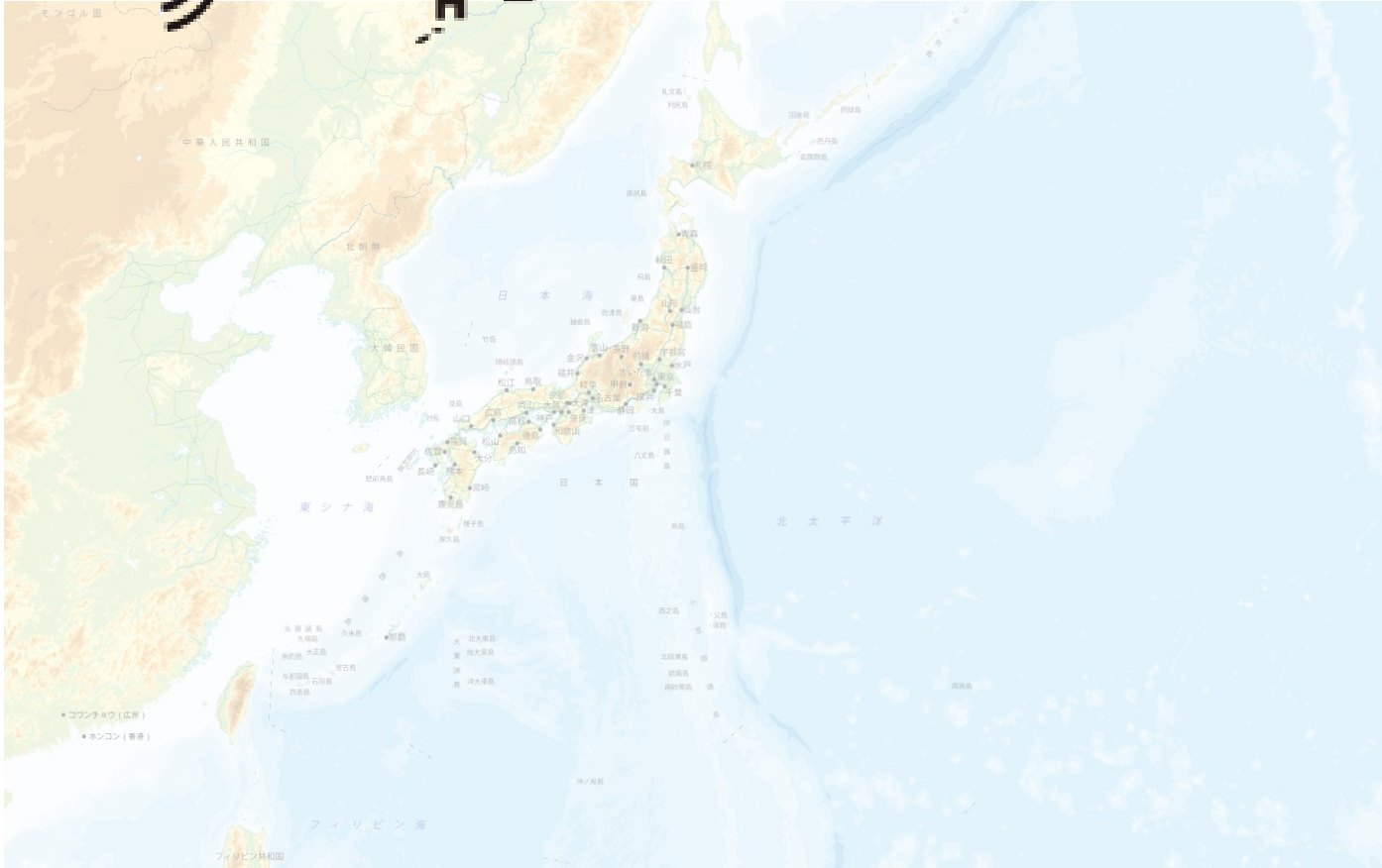


先輩職員のMY就活



R7年採用ペンネーム たけのこ

最終学歴 (学部新卒)

専門 (経済学) 試験区分 (一般職：行政)

○国土地理院の志望動機

官庁訪問の際に地理院の雰囲気の良いを感じ、自分もここで働きたいと強く感じたから。

また、緊急時にも人々のために働くことができる仕事であると考えたから。

○ 国家公務員試験・官庁訪問について（対策）

■ 試験対策はいつ頃からはじめたか

本格的に勉強を開始したのは、大学3年生の夏頃。

■ 基礎能力試験に対してどのように対策をしたか

公務員試験用の問題集・YouTube動画
苦手な数的処理を集中的に解いていた。

■ 専門試験に対してどのように対策をしたか

公務員試験用問題集・YouTube動画
専門試験内容の知識が何も身につけていなかったため、一度
全て解いて間違えたものを復習していた。

■ 面接に対してどのように対策をしたか

ネット検索で「何を聞かれるか」を事前に調べ、回答をある
程度用意していた。

■ 試験勉強での戦略

友人と学習進度を伝え合うことで、モチベーションを保つよ
うにしていた。

■ 官庁訪問までに準備したこと

ホームページ等で書かれている業務内容を読み込んだ。
また、内容がわからなくても、自分なりにどう理解している
のかを伝えられるようにしていた。

○国家公務員試験・官庁訪問について（対策）

■ 官庁訪問・面接の印象

人事院面接のときよりも人柄や、志望度を重視しているような印象を受けた。

○自身の就職活動を振り返って

■ 就職活動中の悩みや不安とその対処法は？

周りの就活生が優秀に感じ、自分に自信をなくしてしまった。他人と自分は違う人間なので、比べることなくできることを精一杯やるしかないと考えるようにした。

■ 就職活動中のリフレッシュは？

夜に星を見ながら散歩をしていた。散歩でほどよく疲れるとぐっすり眠れるため、ほぼ毎日散歩をしていた。

■ 自己分析をする上での私のおすすめ

第三者の意見を積極的に取り入れる。
自分よりも周りの人の方が、よく見ていたり、理解していたりすることが多いため。

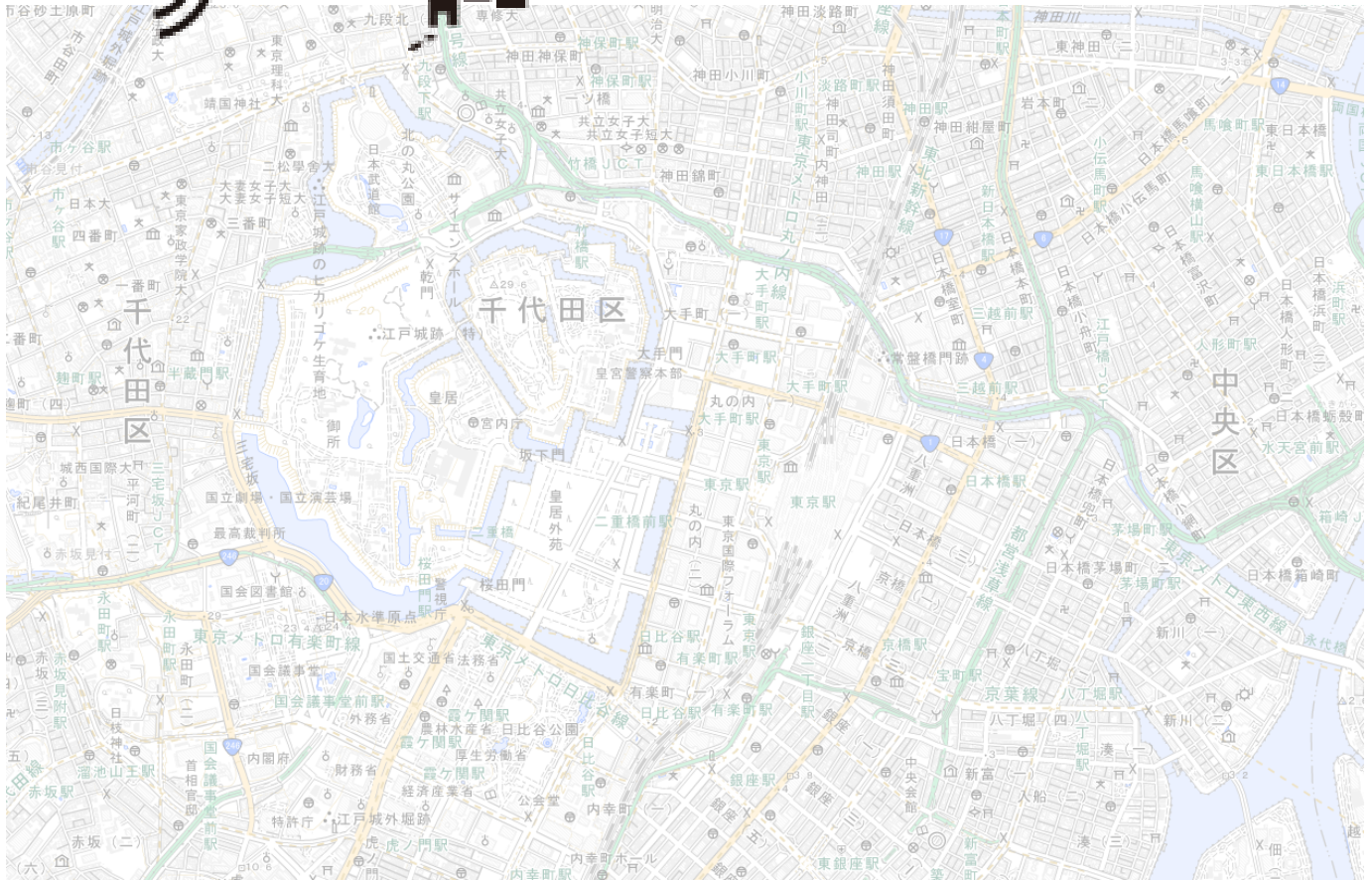
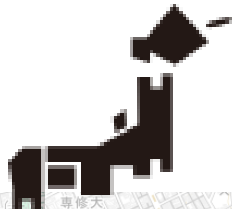
■ 過去の自分へのアドバイス

就活は面接官に選ばれるところであり、自分が働きたい場所を選ぶところである。

○職場としての国土地理院の魅力

とても穏やかで雰囲気の良い職場です。わからないことも丁寧に教えてもらえるので、とても働きやすいと思います。

先輩職員のMY就活



R7年採用ペンネーム てつお

最終学歴 (学部既卒)

専門 (法律系) 試験区分 (一般職：行政)

○国土地理院の志望動機

事務官採用ながら「幼い頃から地図に興味があった」という志望動機を面接でも話した。説明会で感じた職員の方々の雰囲気の良い、つくば市という土地で働き暮らしていくこと、多くの条件が自分に最適だと感じ志望した。

○国家公務員試験・官庁訪問について（対策）

■ 試験対策はいつ頃からはじめたか

R5年2月（国家一般一次試験の約1年3ヶ月前）

■ 基礎能力試験に対してどのように対策をしたか

公務員試験予備校の講義・教材

私の試験対策は予備校の教材のみで完結していた。最初は文章理解と数的処理が思うように解けなかったが、過去問を繰り返すにつれ、正答率が上がった。人文科学などの知識系の科目は、自分がこれまで触ってきた科目のみ受講・復習した。

■ 専門試験に対してどのように対策をしたか

使った教材などは教養試験と同様。ただ国家一般は専門試験の方が配点が高いこともあり、勉強時間は教養科目に対して7倍程度費やした。中でも法律・経済系に重点を置き、講義を受けたらその範囲をすぐに過去問で確認し、しばらく経ってから数講義分の過去問を解き直すというサイクルで知識の定着を図った。

■ 面接に対してどのように対策をしたか

予備校にて模擬面接・面接カードの添削を行った。受験生同士で面接練習や相談ができる機会が設けられていたので、これを積極的に活用した。情報が入ってくるだけでなく、何でも気軽に相談できる友人ができるという点が良かった。また、民間の就職活動の経験があったため、それを活かす形で面接カードを作成し、模擬面接を行った。

○国家公務員試験・官庁訪問について（対策）

■ 試験勉強での戦略

本番の戦力となり得る科目は、まず講義で内容に触れ、すぐに受講範囲の問題集に取り組む。そうすることで「本番の問題を解くための理解」ができる。その後は定期的にメンテナンスをしていき、自分の進捗や理解度に応じて科目ごとのバランスを調整した。

■ 官庁訪問までに準備したこと

官庁訪問直前に行われた説明会に参加し、業務内容への理解を深めた。ガクチカや長所などを国土地理院向けに調整し、ベタな質問は何を聞かれても迷い無く答えられるようエピソードを用意した。

■ 官庁訪問・面接の印象

国土地理院ならではの、そして事務官ならではの質問があったが多くは想定内だったため、落ち着いて対応できた。面接官の方々が自分のことを知ろうとしてくれているという雰囲気を感じ、のびのびと回答できていたと記憶している。

○国土地理院のインターンや業務説明を受けて感じたこと

説明会に参加されていた職員の方々の雰囲気が柔らかく、接しやすいという印象を受けたのを覚えている。職員同士の会話からも雰囲気の良さを感じ、私が国土地理院を志望する一つのきっかけになった。

○自身の就職活動を振り返って

■ 就職活動中の悩みや不安とその対処法は？

不安や疑問点が浮かんだらすぐに予備校講師に相談していた。一次試験後の面接対策が本格化してからは同じ受験者の人たちと繋がりができたので、彼らとも相談し合った。

■ 就職活動中のリフレッシュは？

勉強が嫌になったら一旦離れ、好きなことをする。試験合格において何よりも大切なのは自身の心身の健康だと考えているため。

■ 自己分析をする上での私のおすすめ

事前に色々な人と接し、様々な経験を積むこと。そうすることで自分は何ができて何ができないか、どんな人が自身に合っていてどんな人が苦手なのか自ずと見えてくる。

■ 過去の自分へのアドバイス

自分のやり方は間違っていなかったから、自信を持って就職活動に励んでほしい。体調管理は徹底するように！

○職場としての国土地理院の魅力

和やかな雰囲気職場で上司や先輩ともコミュニケーションが取りやすい。全国区で出張や出向の機会があり、様々な経験ができる。